

7	バドミントン
ビジョン	バドミントンを通してチーム医療に役立つ人材を育てる。
ゴール	学部・学校に関係なくグループ分けを行い練習する。その後、ダブルスで試合を行う。
理由	パートナー相互の協力で思いやりの意識を育てる。
知の成果物	ルールの習得、準備運動等のスポーツの基本的理解
身につく力(目的)	・コミュニケーション能力 ・自主性を持った行動力 ・ルール、マナーを守る力
学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・準備体操を十分に行う(バドミントンではアキレス腱の故障が頻発するので、ストレッチングは重要である) ・正確なショットを行うために素振りを行う ・ドロップクリア、スマッシュクリアなどの組み合わせ練習を行う ・審判は学生同士が行う ・ネット張り、コート清掃は学生全員で行う。
活動の特徴	アセンブリホールでのバドミンントンの練習および試合を実践する。 初回および必要に応じて医療科学部5号館5階教室にてビデオ鑑賞を行う。
班主任名	辻岡勝美 医療科学部 放射線学科
<初回>活動場所	医療科学部5号館5F 504
<通常>活動場所	アセンブリホール1F
<雨天時>活動場所	